

第2回 まちづくり市民ワークショップ《いばらきMIRAIカフェ》ニュース

日時：平成 25 年 8 月 10 日(土)、9:30～11:50

場所：茨木市役所南館 10 階大会議室

◆ 次 第 ◆

(開会)

- ワールド・カフェ
・私たちが住みたいまちってどんなまち？
- その他(次回ワークショップの案内)

(閉会)



当日の会場の様子

第 2 回ワークショップは77人の方に出席していただきました。

◆第2回ワークショップの趣旨・目的

- ワールド・カフェと呼ばれる意見交換の手法を活用して、参加者の皆さんになるべく多くの交流と対話の時間をつくっていただき、私たちが住みたいまちのイメージを考えていただきました。
- 本日のワークショップで考えていただいた結果は将来像のキーワードに活用させていただきます。また、第3回のテーマである「まちの良いところ、ちょっと残念なところ」を見つけるきっかけとなり、第4回以降のテーマ「協働のまちづくり」の“タネ”にもなることもワークショップの目的としました。

◆第2回ワークショップの内容

- ワールド・カフェの特徴の説明から始まり、次いで今回のワールド・カフェの進め方を確認しました。
- 最初の問いは、「あなたが住みたい・住み続けたいと思うまちは、どんなまちですか？それは、なぜですか？」です。20分間、密度の高い対話を通じて考えていただきました。
- たくさんの方々とお話してもらうために、1つの問いが終わると、テーブルを移動していただきます。
- テーブルを移動したあとの第2の問いは「10年後の未来。あなたは、茨木市がどんなまちになっていると思いますか？」です。1回目の問いと同じく、20分間、対話をしていただきました。



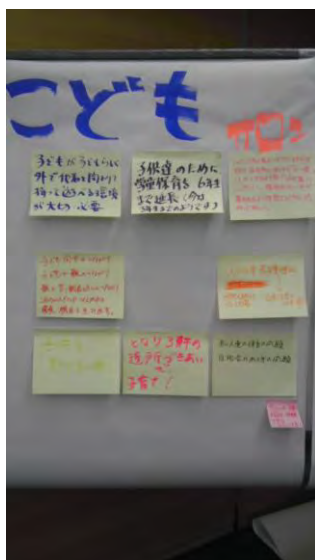
○2回目のテーブル移動のあとの第3の問いは「私たちみんなでつくる10年後の茨木市。あなたは、その未来に向けて、どんな貢献ができますか？」でした。1回目2回目のテーブルを合わせると、たくさんの交流と対話を積み上げていただいたことになります。

○そして、みなさんの意見の収穫です。大きめの付箋紙(A5サイズ)に3回の対話の中で一番印象に残った“こと”を書いていただき、事務局がパネル上で付箋紙をグルーピングして、参加者の対話の整理をしました。この付箋紙1枚1枚がこれからのまちづくりに生かされていくことになります。



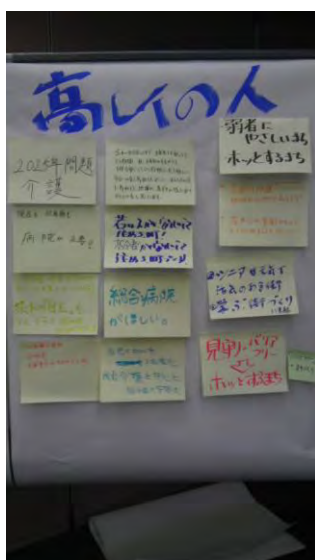
◆集まった意見(第2回ワークショップの結果) ※○はA5サイズの付箋紙に書かれた意見

◆は付箋の意見から連想された追加意見(小付箋)



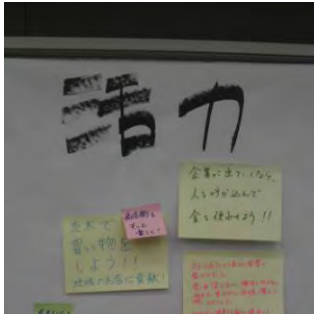
子ども サロン

- 子どもが子どもらしく外で他者と関わりを持って遊べる環境が大切。必要。
- 子供達のために学童保育を6年生まで延長(今は3年生までのようです)
- しゃべって帰る集まりだけに終わらず、何か茨木市に向けて「より良い」ことができるようなカフェ(集まり)にしたい。福祉をしたい方が集まれるような窓口(サロン)を作って欲しい。
- 子ども同士のつながり、子どもと親のつながり、親と高齢者の方のつながり、これらの人たちがつながれる環境・機会を生み出す。
- 人口比率、若年層増加→子供(子育てしやすい街に)
- 世代を超えて集える場
- 子供を育てやすい街に
- となり3軒の近所づきあいで子育て!
- 若い人たちの保育の問題
- ◆サロンの活動を紹介、体験できるイベントを!
- 小児医療の充実、茨木市内で安心して子育てができるように、茨木の「目玉」をつくろう! 何かはこれから考える。



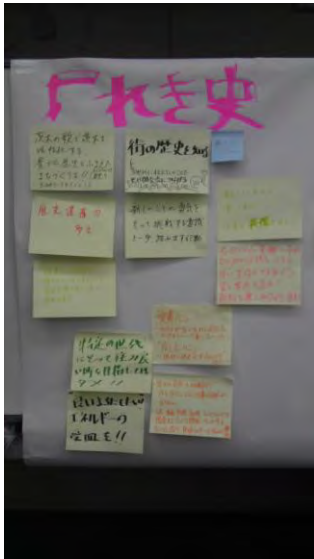
高齢の人

- 2025年問題、介護。
- 高齢化社会の中で、お年寄りが安心して暮らせる街、また、お年寄りの手を借りて子供も安心して暮らせる街になって欲しい。今回この会に参加したように、なんらかの会に参加して、地域の、茨木市の役に立てたらいいなと思います。
- 弱者にやさしいまち、ホッとするまち。
- 現在も10年後も病院が必要。 ○総合病院がほしい。
- 若い人が安心して住める町! 高齢者が安心して住める町づくり
- 10年後のまち→高齢者になっても暮らしやすいまち。若者が多く住んでいるまち
- 高齢化問題・ユニバーサルデザイン・バリアフリー、地域のつながりがあるまち!!
- シニアが元気で活気のある街
- 学ぶ街づくりに貢献。
- 10年後の茨木、子ども達、お年寄りがすみやすいまち
- 自然の中にも活性化。総合介護を中心に生活の安定化。
- 見守り・バリアフリー→ホッとするまち
- ◆「バリアフリー」のまちづくり
- 特定の世代にとって住みよい町を目指してはダメ!!
- 高齢化がより進みイメージがつかめない
- ◆市民全体でシニアの運動会開催(最低10年間は継続)



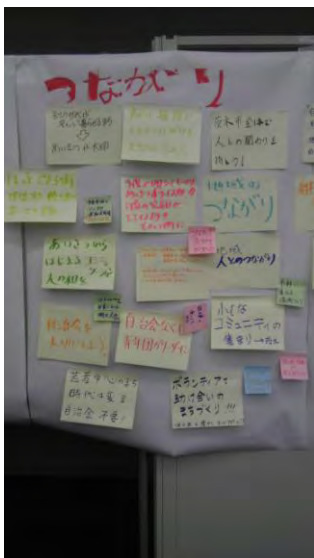
活力

- 企業がでて行くなら、人を呼び込んで金を使わせよう!!
- 茨木で買い物しよう!!地域のお店に貢献!
- ◆商店街をもっと楽しく!
- ◆有名人になって貢献しよう!税金のない街
- 茨木は府下でも5番目に農業が盛んなところ。豊かな緑を生かし、環境を維持し、町(街)中で、農作物を(茨木産)買えるシステムを。そのために消費行動を提案していきたい。
- 新しいことに勇気をもって挑戦する意識と、一步、踏み出す行動
- 「向上心」～現状に満足せずチャレンジする心～
- 茨木は自然も利便性もほどほど。だから改善のエネルギーが少ない。
- 安心、安全、清潔な街を作り、JR、阪急の再開発、商店街の活性化!



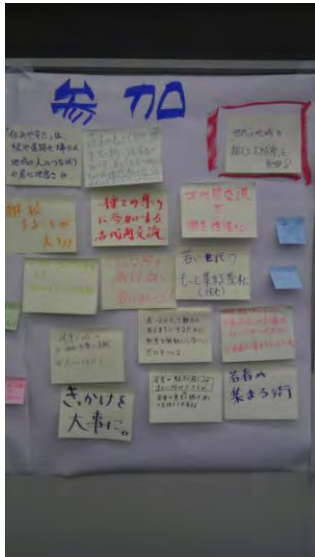
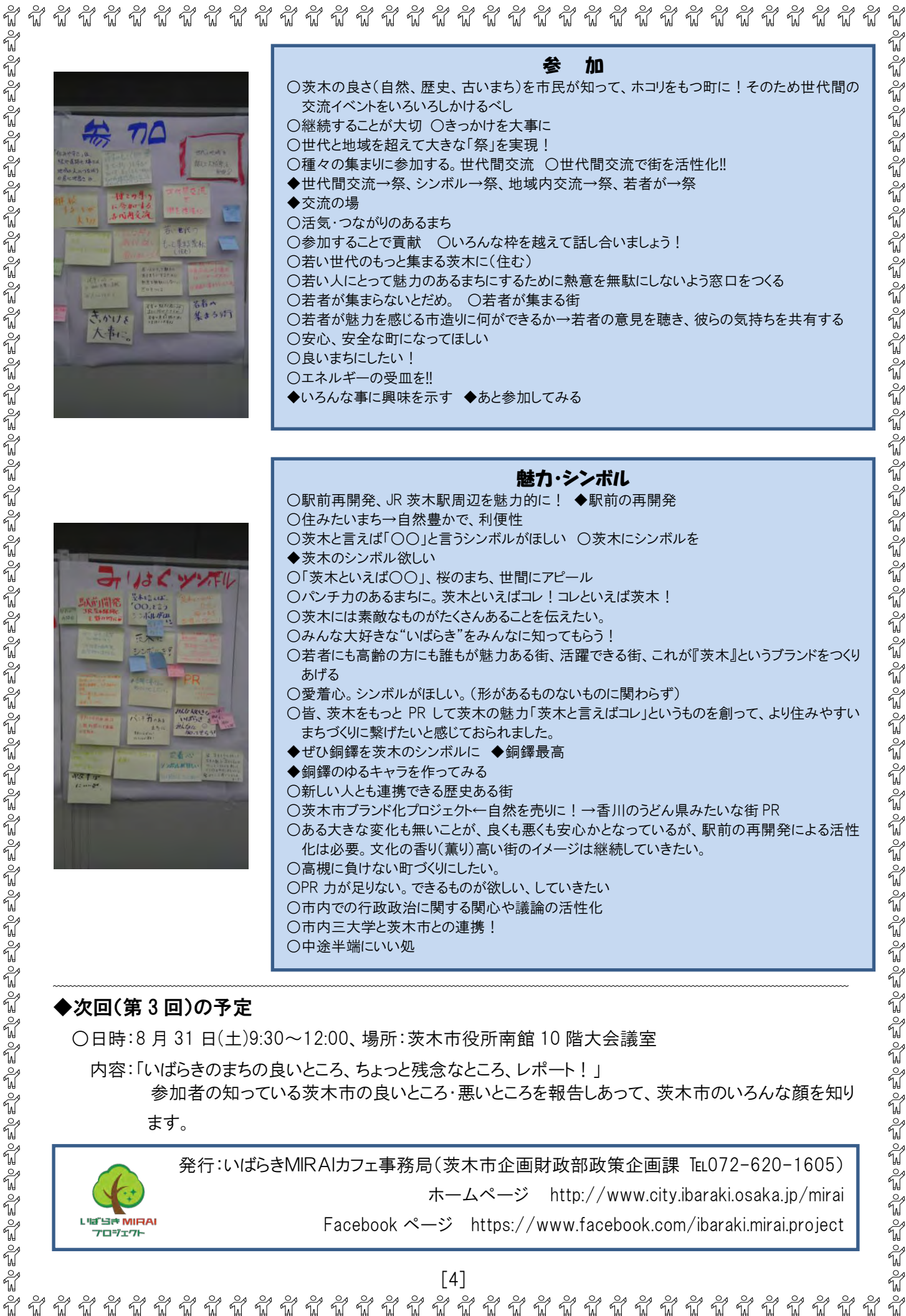
歴史

- 茨木の歌で茨木を活性化。
- 豊かな歴史をふまえたまちづくりを!!(まち作りのとき歴史を大切にしましょう!)
- 街の歴史を知る→次世代に伝えていくことで、世代間交流につながる
- ◆歴史×人=つながり
- 歴史遺産の多さ
- 新しいものと、古いもの、うまく共存させたい
- 緑豊かな自然は残しつつ、古き良きところ、時代に流されていない茨木のまち
- もったいない意識を市民ひとりひとりが持ち、ムダのない生活ができるよう、皆で努力をする!!節約を楽しみながらする!!
- 「愛着心」～カタチがないものに対して、どのようにして築いていくか～



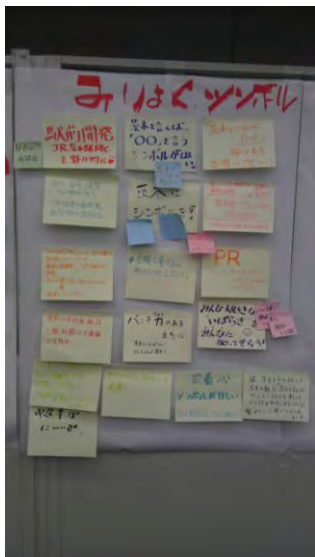
つながり

- 全ての世代が安心して暮らせるまち→あいさつが大切
- 声かけ、挨拶で人とのつながりを大切に
- 茨木市全体で人との関わりを持とう!
- “ほっと”できる街、街並み保存、緑を増やす、あいさつ運動
- 子供が明るくしっかりあいさつするなあ!!年寄りの笑顔がエエなあ!!そんな町に
- ◆つながるきっかけが大切
- 地域のつながり ○地域、人とのつながり
- あいさつからはじまるコミュニケーション、人の和を
- 地域住民のコミュニケーションを強めるために「あいさつ」を心がける様にする。これを茨木市全体に広める。
- ◆人のコミュニケーションが良いという街の文化づくり
- 自治会を大切にしよう
- 自治会なくし青年団がリーダーに
- 自治会のあり方の問題
- 若者中心のまち。時代は変わる。自治会不要!
- ◆話す事の楽しさを知る
- 小さなコミュニティの集まり→茨木
- ◆気軽に集える場所づくり
- ボランティアで助け合いのまちづくり!!! (受皿を増やし、もっとアピール!)
- ◆地域活動の窓口を1つに
- ◆自分ができる小さなことから!
- 子供、家庭、学校、地域、ひとりひとりを接続するジョイント機能、きっかけをたくさん設け、風通しの良い安心な環境
- 健康でいること①福祉・医療に貢献②人とのつながり
- 「住みやすさ」は、駅や道路も大事だが、地域の人とのつながりの居心地良さか



参加

- 茨木の良さ(自然、歴史、古いまち)を市民が知って、ホコリをもつ町に！そのため世代間の交流イベントをいろいろしかけるべし
- 継続することが大切 ○きっかけを大事に
- 世代と地域を超えて大きな「祭」を実現！
- 種々の集まりに参加する。世代間交流 ○世代間交流で街を活性化!!
- ◆世代間交流→祭、シンボル→祭、地域内交流→祭、若者が→祭
- ◆交流の場
- 活気・つながりのあるまち
- 参加することで貢献 ○いろいろな枠を越えて話し合しましょう！
- 若い世代のもっと集まる茨木に(住む)
- 若い人にとって魅力のあるまちにするために熱意を無駄にしないよう窓口をつくる
- 若者が集まらないとだめ。 ○若者が集まる街
- 若者が魅力を感じる市造りに何が出来るか→若者の意見を聴き、彼らの気持ちを共有する
- 安心、安全な町になってほしい
- 良いまちにしたい！
- エネルギーの受皿を!!
- ◆いろいろな事に興味を示す ◆あと参加してみる



魅力・シンボル

- 駅前再開発、JR 茨木駅周辺を魅力的に！ ◆駅前の再開発
- 住みたいまち→自然豊かで、利便性
- 茨木と言えば「○○」と言うシンボルがほしい ○茨木にシンボルを
- ◆茨木のシンボル欲しい
- 「茨木といえば○○」、桜のまち、世間にアピール
- パンチ力のあるまちに。茨木といえばコレ！コレといえば茨木！
- 茨木には素敵なものがたくさんあることを伝えたい。
- みんな大好きな“いばらき”をみんなに知ってもらう！
- 若者にも高齢の方にも誰もが魅力ある街、活躍できる街、これが『茨木』というブランドをつくりあげる
- 愛着心。シンボルがほしい。(形があるものないものに関わらず)
- 皆、茨木をもっと PR して茨木の魅力「茨木と言えばコレ」というものを創って、より住みやすいまちづくりに繋がりたいと感じておられました。
- ◆ぜひ銅鐸を茨木のシンボルに ◆銅鐸最高
- ◆銅鐸のゆるキャラを作ってみる
- 新しい人とも連携できる歴史ある街
- 茨木市ブランド化プロジェクト←自然を売りに！→香川のうどん県みたいな街 PR
- ある大きな変化も無いことが、良くも悪くも安心かとなっているが、駅前の再開発による活性化は必要。文化の香り(薫り)高い街のイメージは継続していきたい。
- 高槻に負けない町づくりにしたい。
- PR 力が足りない。できるものが欲しい、していきたい
- 市内での行政政治に関する関心や議論の活性化
- 市内三大学と茨木市との連携！
- 中途半端にいい処

◆次回(第3回)の予定

○日時:8月31日(土)9:30~12:00、場所:茨木市役所南館 10階大会議室

内容:「いばらきのまちの良いところ、ちょっと残念なところ、レポート！」

参加者の知っている茨木市の良いところ・悪いところを報告しあって、茨木市のいろんな顔を知ります。



発行:いばらきMIRAIカフェ事務局(茨木市企画財政部政策企画課 Tel072-620-1605)

ホームページ <http://www.city.ibaraki.osaka.jp/mirai>

Facebook ページ <https://www.facebook.com/ibaraki.mirai.project>